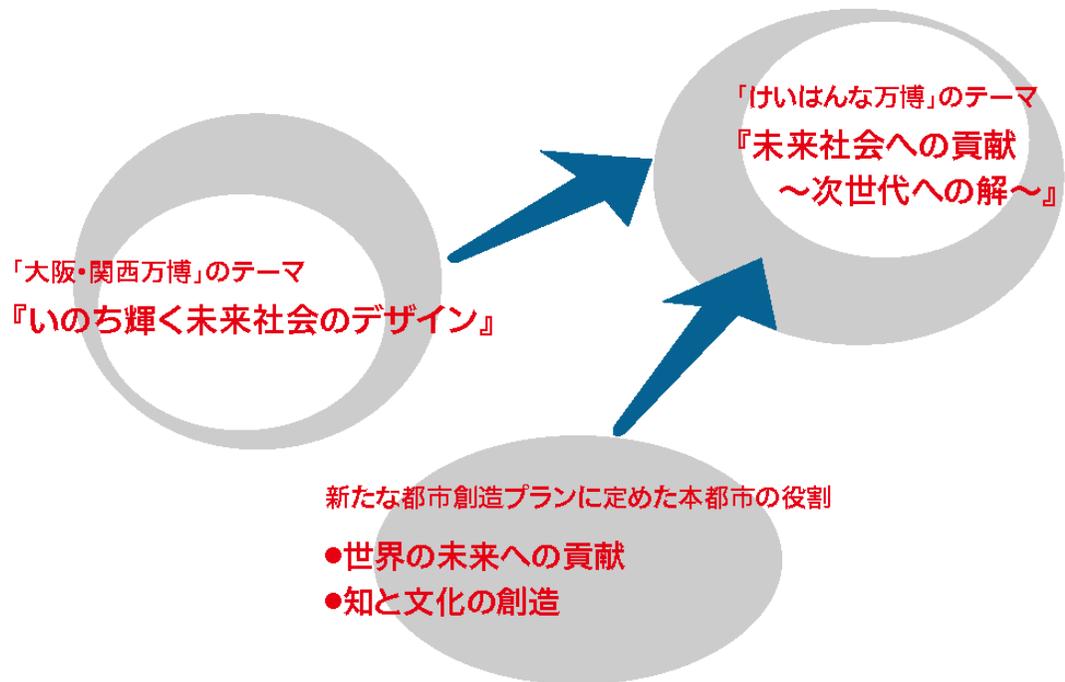




経緯

2025年、大阪・夢洲で開催される「大阪・関西万博」のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」。
さらに「いのちを救う」「いのちに力を与える」「いのちをつなぐ」がサブテーマとして、地球温暖化や環境破壊、紛争や疫病、貧困や飢餓といった人類共通の課題解決に向けて、最先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する「未来社会の実験場」となることが想定されている。



他方、けいはんな学研都市が「新たな都市創造プラン」において自らの役割として認識するビジョンは、「世界の未来への貢献」と「知と文化の創造」。

これは「大阪・関西万博」のテーマと極めて近く、重なり合う部分も多いことから、その機会を積極的に活用して本都市を一層発展させる方策について検討を重ねてきた。

2019年 「けいはんなで大阪・関西万博を考える会」発足。翌年、日本国際博覧会協会に対して事業提案。

2021年 「TEAM EXPO 2025」共創パートナーに登録。

2021～2022年 新たな都市創造会議のワーキンググループにおいて、「未来社会への貢献～次世代への解～」をテーマとする「けいはんな万博全体構想」をとりまとめ。



全体構想の概要と今後の取組み

「けいはんな万博」のテーマ：「未来社会への貢献 ～次世代への解～」

研究開発型オープンイノベーション拠点の形成をめざすという本都市の志に則って、「大阪・関西万博」で示されるような未来社会の諸相を、多くの地域資源を有する本都市の現実の暮らしの中に実装し、未来を体感できる取組を展開していくことを目指す。

本都市内の各地やメタバースなどを活用して下記のようなコンテンツを展開することを想定しており、全体構想を受けて、今後、詳細に計画を検討し2025年の実現を目指す。

本都市にふさわしいテーマの
国際的な会議等の開催

研究機関や大学、
企業、市民グループ等が
取組む
オリジナルコンテンツの展開

オータムフェアなど
既存イベント群の
万博特別版への
バージョンアップ

大阪・夢洲や
近隣の他地域と連携した
広域的な事業展開取組み

想定しているコンテンツ

- けいはんな学研都市内の企業、研究機関、大学等の立地機関をはじめ、公共団体等とも連携を図る。
- また、域外との積極的な連携を図る。
- 2025年だけで終わるのではなく、その先の未来に続く取組みとする。
- 次代を担う若い世代に届くような楽しさ、期待感のある取組みとする。